

「オホーツク流氷の日」制定記念

協賛：サッポロビール、日本航空、JR北海道

オホーツク・知床 こども流氷サミット

北海道洞爺湖サミット・環境リンクージュプログラム

2月9日（土）～2月11日（月・祝）開催

「オホーツク流氷の日」の制定を記念して、全国から30名の小学6年生が集い、『オホーツク・知床こども流氷サミット』を開催しました。

流氷ウォーク、砕氷船おーろら号乗船、知床自然センター周辺散策などを通じて、本物の流氷や世界自然遺産の知床にふれ、環境保護や地球温暖化の防止などについて学び、考えました。

2月9日（土）

・アイスクャンドルづくり



2月10日（日）

・知床自然センター訪問：知床財団 田中主任



2月10日(日)

・周辺散策(知床自然センター～フレペの滝)



・流水ウォーク



・流水と環境のお話：知床博物館 合地学芸員



・アイスクャンドル点灯



2月11日(月・祝)

・流水砕氷船おーろら号乗船



グループ討議

～ エコを楽しめる「オホーツク eco ワンダーランド」を考えよう！ ～

A グループ



子どもサミットで学んだ課題と解決策

森や動物 との バランス

- ・ シカを殺さずにすむ対策を考えるべき
(記にネットを巻き付ける。木にシカの食べられない素材を巻く)
- ・ シカを保護する施設をつくったらいい(シカが住む場所を区切る)
- ・ シカが木の皮を食べていた。殺すのは仕方ないと思った。
- ・ シカと木の量のバランスを考えるべき。シカが木の幹を食べてしまうから、シカの減量よりも木の増量が必要
- ・ クマを怖がらずに保護すべきだと思う
- ・ フクロウやワシのすみかが減ってきている
- ・ シカやクマはいすぎても困るから、いなくてもいい?

温暖化 (CO₂や流 氷のこと)

- ・ ゴミを減らすことは温暖化防止にもいいし、動物が間違っても食べないからいい
- ・ CO₂はありすぎなければ、適当に地球を暖めてくれるもの

オホーツクの自然環境を利用してもっと楽しいことを考えよう!

動物や植物と

- ・ 動物をさがして観察する
- ・ かんじきウォークのときにバードウォッチングをやるといい

流水や雪を使って

- ・ 雪像をつくる

その他にも・・・

- ・ オホーツクのことについてのクイズ(流水や動物のこと)

グループ討議

～ エコを楽しめる「オホーツク eco ワンダーランド」を考えよう！ ～

B グループ



こどもサミットで学んだ課題と解決策

身近に
できる
こと

- ・ やりっぱなしにしない。つけっぱなしにしない。(テレビや電気など)
- ・ 地球温暖化を防止するには、まず身の回りの行動を見直す必要があると思った

森や動物
との
バランス

- ・ シカが木を食べるから木を切ろうと思ったけど、それでは、地球温暖化が進んでしまうから、全ての木にネットをはってシカにはツルを食べてもらったらいいと思う
ツルは、木の栄養を吸いとってのびるから、ツルをシカが食べると木を守れるからいいと思う

オホーツクの自然環境を利用してもっと楽しいことを考えよう！

動物や植物と

- ・ シカにエサを与える体験をしたい
- ・ 北海道の飲食店でシカ肉を使ったメニューを作ればいいと思った
- ・ シカ肉の試食会
- ・ 知床に動物園・植物園をつくりたい
- ・ バードウォッチング

流水や雪を使って

- ・ 昔の流水を再現する
- ・ 流水の滑り台を作ってみんなを楽しませたい
- ・ 流水を利用したゲームをしたい
- ・ 流水は塩分が少ないので何かに使えないか
- ・ 流水ができたところを見たい
- ・ 流水科学館をつくる

その他にも・・・

- ・ 愛地球博みたいな万博を開く！！自然の展示会を開きたい
- ・ 雪で埋めた旗などを探す宝探し。スタンプラリーやクイズ式のラリーなど
- ・ 旅行に行ったついでに立ち寄りたくなるような自然にやさしいセンターをつくれればいい

グループ討議

～ エコを楽しめる「オホーツク eco ワンダーランド」を考えよう！ ～

C グループ



こどもサミットで学んだ課題と解決策

森や動物 との バランス

- ・ シカたちが飛び出してくるのを防ぐため、柵を道路につける
- ・ シカが増えすぎた場合は、捕獲数を決めて狩りをするか、動物園に送る
- ・ もっと花や木を植えてもらうきっかけをつくるなど、植物を増やせばいい
- ・ 発展の中である程度の犠牲は仕方がないが、生態系のバランスの進化が環境変化についていけるように少しずつ変えていけるようにする。

温暖化 (CO₂や流 氷のこと)

- ・ 温暖化で流氷がなくなっても、人工的に海に氷をつくれれば問題ない
- ・ エアコンの温度をなるべく小さくする
- ・ 環境の問題を認めず目をそむける人や、身近なことと思わない人がたくさんいるので、この問題が深刻化すると自分の生活に大きく関わってくるということをもっと地域ぐるみで知らせるべき。

オホーツクの自然環境を利用してもっと楽しいことを考えよう！

動物や植物と

- ・ シカ達のけもの道を通して、シカの気持ちになる！

流氷や雪を使って

- ・ 流氷の下からライトを入れて、でっかいアイスキャンドルをつくる！
- ・ 流氷を使ってボーリング場をつくる
- ・ 流氷に乗っているいろいろなところへ連れて行ってくれる船乗りさんがいてほしい
- ・ 流氷の上に滑り台やシーソーをつくり遊ぶ
- ・ 不安定な流氷を、いくつ渡れるか競う

グループ討議

～ エコを楽しめる「オホーツク eco ワンダーランド」を考えよう！ ～

D グループ



こどもサミットで学んだ課題と解決策

森や動物 との バランス

- ・ エゾシカが木の皮を食べてしまい、木が枯れるので、エゾシカが住んでいる所に植物（食べ物）を増やす

温暖化 (CO₂や流 氷のこと)

- ・ 冬になってからのヒグマの出没が多いのは、冬が暖かくなったせいなので、温暖化を食い止めなければいけない
- ・ できるだけ車を使わずに徒歩や自転車を使う。観光客の人にバスを利用してもらって、乗用車何台もよりバス 1 台で CO₂ 排出量を少なくする
- ・ テレビ・ゲームは時間を決める
- ・ 水を出しっぱなしにしない。誰も使っていない家電製品は消す
- ・ ストープは、昼間 4 時間（10 時～14 時くらい）は消す

人と自然 との 関わり方

- ・ 人と動物、他の生物が共存できるのが一番大切。環境を守には慎重にやらなければいけない
- ・ 知床が世界遺産になってから観光客が多すぎるので、例えば、週に 4 日はいつものようにかんじきウォークで、3 日は観光客の人と森の整備を目的としてかんじきウォーク&森の整備をする

オホーツクの自然環境を利用してもっと楽しいことを考えよう！

動物や植物と

- ・ エゾシカやクマなどにエサをあげる
- ・ シカの角切りをする

流水や雪を使って

- ・ 雪で作った流水公園（遊具）があるといい（雪祭りみたいなもの）
- ・ 流水の下にもぐる（流水の海でスキューバダイビングで学習する）
- ・ 流水の上で雪像を作る。流水雪祭り
- ・ 流水ウォークでクリオネにさわる

その他にも・・・

- ・ ウォークラリー・クイズラリーのようなもの（森林散策）